

## 第84回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成15年4月25日(金)13:30～16:30

場所：八重洲センタービル会議室

出席者：委員長 大崎（東京大）

副委員長 北野（JR東海）

委員 小豆澤（神戸商船大）、板垣（三菱電機、代理竹内）、内海（東海大）、  
苅田（科学技術振興事業団）、古関（東京大）、水間（交通研）、  
海老原（武蔵工業大、代理土屋）、楡井（長野高専）、渡辺（FDK）、  
山根（産総研、代理西田）

幹事 水野（信州大）、村井（鉄道総研）

幹事補佐 真田（大阪府立大）、鳥居（武蔵工業大）

## 提出資料

- 84-1 第83回リニアドライブ技術委員会議事録案（鳥居幹事補佐）
- 84-2 リニアドライブ技術委員会名簿（鳥居幹事補佐）
- 84-3 第68回産業応用部門研究調査運営委員会報告（大崎委員長）
- 84-4 平成14年度リニアドライブ技術委員会活動報告（大崎委員長）
- 84-5 産業応用フォーラム実施に関する細則（大崎委員長）
- 84-6 D部門技術委員会統廃合WG報告（3）（大崎委員長）
- 84-7 「D部門技術委員会統廃合WG報告」資料に対する意見（大崎委員長）
- 84-8 平成15年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧（鳥居幹事補佐）
- 84-9 リニアドライブ研究会発表募集（水野幹事）
- 84-10 第15回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウムプログラム（村井幹事）
- 84-11 リニアドライブ技術委員会・磁気支持応用機器におけるダイナミクス調査専門委員会東部丘陵線用HSST先行車両合同見学会 開催案内（案）（真田幹事補佐）
- 84-12 技術報告書（大崎委員長）
- 84-13 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール（案）（真田幹事補佐）
- 84-14 委員会構成員変更（大崎委員長）
- 84-15 平成16年度活動計画 第0次案（大崎委員長）
- 84-16 超電導浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会設置趣意書（案）（北野副委員長）
- 84-17 多次元ドライブシステム調査専門委員会（MDD）活動報告（海老原委員）
- 84-18 汎用リニアドライブにおけるサーボ制御とセンサ技術調査専門委員会（SEL）活動報告（渡辺委員）
- 84-19 磁気支持応用機器におけるダイナミクス調査専門委員会（MLV）活動報告（村井幹事）
- 84-20 リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会（LMD）活動報告（楡井委員）
- 84-21 委員会構成員変更届（楡井委員）
- 84-22 産業用リニア駆動システムの評価技術調査専門委員会 ~~(LMD)~~ <sup>ILP (A)</sup> 活動報告（水野幹事）
- 84-23 第5回 多次元ドライブシステム調査専門委員会 議事録（海老原委員）
- 84-24 第6回 多次元ドライブシステム調査専門委員会 議事録（海老原委員）
- 84-25 第11回 汎用リニアドライブにおけるサーボ制御とセンサ技術調査専門委員会 議事録（渡辺委員）
- 84-26 第6回 リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会 議事録（楡井委員）
- 84-27 第12回 産業用リニア駆動システムの評価技術調査専門委員会 議事録（水野幹事）

## 議事

議事に先立ち、電気学会優秀論文発表賞（LD研究会関係）の贈呈が行われた。

## 1 議事録確認

資料84-1を用いて議事録確認を行い、議事2.4「発表82件」を「発表32件」に訂正の上、承認された。

## 2 報告事項

- 2.1 資料 84-2 を用いて、委員会名簿の確認を行った。
- 2.2 大崎委員長より、資料 84-3 から 84-7 を用いて、D 部門研究調査運営委員会の報告があった。
- 2.3 資料 84-8 を用いて、平成 15 年度各委員会の予定を確認し、以下の修正があった。
  - (1) D 部門大会：開催日を 8/27-29 から 8/26-28 に修正
  - (2) LD 研究会：7 月の研究会に、モノレール見学が加わることを確認
  - (3) 関連会合：10/12-16 IEEE-IAS を追加
  - (4) ECD 委員会：5/23 の開催予定を追加
  - (5) MEL 委員会：7/25 の開催予定を再検討
- 2.4 水野幹事より、資料 84-9 を用いて、9/25,26 開催 LD 研究会の案内があった。
- 2.5 村井幹事より、資料 84-10 を用いて、第 15 回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウムの進行状況について、順調に進行しているとの説明があり、プログラムが紹介された。
- 2.6 真田幹事補佐より、資料 84-11 を用いて、6/16 開催予定の見学会についての説明があった。都合により東部丘陵線の見学は取りやめて大江での車両試乗のみとしたこと、場所の都合で 30 名までの合同見学会としたこと、本日から受付を開始することがアナウンスされた。
- 2.7 資料 84-12 を用いて、これまでに出版された LD 技術委員会関連の技術報告書と書籍の確認が行われた。
- 2.8 資料 84-13 を用いて、傘下各委員会の資料提出スケジュールの確認が行われた。

## 3 審議事項

- 3.1 大崎委員長より、資料 84-14 を用いて、技術委員会の構成員変更についての提案があった。渡部委員、中川委員、荻田委員の退任、現 2 号委員の渡辺委員を 6 月から 1 号委員とすることを承認した。これに伴い、富士電機、東芝、及び磁石メーカーから新委員を出して頂くようお願いすることとした。
- 3.2 大崎委員長より、LDIA の現状と方向性についての説明があった。LDIA2003 は順調に推移していることが紹介され、次回以降の開催予定地についての議論があった。スイス、イタリア、韓国、日本などの案が出され、各方面に打診することとした。
- 3.3 大崎委員長より、資料 84-15 を用いて、来年度の活動計画案についての説明があった。若干の修正の後、次回以降に継続審議することとした。
- 3.4 北野副委員長より、資料 84-16 を用いて、超電導浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会の設置趣意書案について説明が行われ、承認された。委員数についての指摘があり、公募枠を残すようにとの要望が出された。
- 3.5 大崎委員長より、D 部門再編についての意見聴取が行われた。元の形が残るようにしないとわからなくなってしまうとの意見があった。また、C 部門は研究会発表が少なく部門誌投稿が多いとの指摘があり、これに関連して、D 部門誌はしきいが高いのでは、リニアドライブは特に部門誌投稿の比率が低い等の意見があった。対応として、研究会で発表される優秀な論文に対して部門誌投稿を薦める仕組みが必要だとの意見があり、これについて検討を始めることを決定した。まず、北野副委員長から各委員に意見聴取し、次回技術委員会までに集約することとした。

## 4 各調査専門委員会活動報告

資料 84-17～84-27 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上